

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 #####

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4570800384
法人名	有限会社 精祥
事業所名	グループホームやまぶき
所在地	鹿児島県出水市上鯖淵48-1 (電話) 0996-63-4176
自己評価作成日	令和4年10月13日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和4年11月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鶴の渡来地として有名な出水市は、鹿児島県の北部に位置しており自然環境に恵まれている。当ホームは、出水市の中央にあり、近くに新幹線の止まる出水駅、オレンジ鉄道の出水駅もあり遠方からの家族の訪問にも喜ばれている。市役所や、医療機関も数多く点在している。有料老人ホームことぶき、コンビニエンスストアも建物内に併設しており、入居者は散歩を兼ねていつでも好きな物を自分で選び買い物が出来る。2階の駐車場には、洗濯物を一緒に干したり、プランターにネギやトマトを植えて水かけを行ったり、1階駐車場脇には畑があり、毎年サツマイモを植え草取りも入居者で行っている。秋の収穫時には皆で芋掘りを行い、おやつ作りや食事に活用している。昔ながらの芋のつるのきんぴらは好評で、皮むきが大変であるが、皆さん黙々と剥いて下さっている。何かある度に写真を撮り毎月初めにホール壁に貼り出している。ホーム入り口には季節に関連した掲示物、職員の写真と名前を貼り出している。コロナ感染対策の為と遠方の家族様の為、これらの写真と、お一人お一人の様子の手紙を毎月郵送しており、入居者家族から大変好評を頂いている。職員は全員一人もしくは二人の入居者担当を持ち、少しずつ変化していく入居者の介護方法について部署会議で検討して、その入居者にとって良い方法を模索し実行している。これからは続くであろうコロナ感染対策を視野に入れ状況をみながら柔軟に対応し入居者の笑顔を絶やささないよう職員も楽しんでいきたいと考えている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、鶴の渡来地出水市市街地にあり、出水駅、出水市役所が近隣にあり、米ノ津川が流れる国道沿いにおいて3階建て百貨店をリフォームした建造物である。法人の併設の介護付有料老人ホーム、2階に1ユニットのグループホームを配し法人の委員会などを通じて日常的に連携している。
理念は、「一緒にふれあい、笑顔のある家庭的な暮らし」で毎朝申し送り時、職員全員で唱和している。また、法人の理念、接遇の目標についても唱和して意識づけをおこない、部署会議で振り返りをおこなっている。
食事は、手作り感にあふれ、残存能力を活かした取り組みを実践しており、能力に応じたお手伝いをもらいながら、食に関する興味や関心が薄らぐことがないよう取り組んでいる。誕生会などの行事食は、お重に詰めて雰囲気づくりをしたり、好きなメニューや嗜好を把握して調理をしている。
コロナ禍のため、運営推進会議は書面にて開催しているが、ホームの取り組み状況や利用者情報、インシデント、ヒヤリハット事例の報告などを書面で報告し出された意見を会議録にまとめ会議メンバーにフィードバックして情報の共有を図り、部署会議などで話し合い業務改善やサービスの質の向上に努めるよう取り組んでいる。毎月「ホーム便り」「議事録」を請求書に同封し情報を伝達、家族からも毎月を楽しみにしているとの言葉がある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り後に出勤職員全員で唱和している。入居者と一緒に理念に沿った家庭的な生活を送れるように取り組んでいる。	法人やホームの理念があり、毎朝申し送り時に唱和している。接遇の目標についても重視し確認をおこなっている。職員は、部署会議で理念の振り返りをおこなっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区の自治会に加入している。自治会主催の催事に参加したり、ことぶき・やまぶきの合同夏祭りには招待していたが、コロナ禍の中現在は難しい状況となっている。	自治会に加入しているが、コロナ禍であり現在は、交流を自粛している。以前は、地域行事への参加や中学生の職場体験、ボランティア受け入れ、清掃活動への参加などあり地域と相互に協力関係を築くなどしていた。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	コロナ禍のなか運営推進会議を身元引受人・自治会会長・民生委員・市職員にレジュメを送付し、翌月意見書をまとめ再度送付している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在行っている毎月様子を伝える手紙は運営推進会議の中で電話で様子を聞くのは気が引けるとの意見に対応している。どの家族からも好評で毎月心待ちにされている。	会議メンバーには、事業所の現状や活動報告、学習会などの情報について書面で意見を求め、それを生かした上で会議録にまとめ、家族全員に毎月、お便りに添付してフィードバックしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>主に電話連絡ではあるが、介護保険関係各種の手続きの際は指導や助言を頂いている。窓口での面談にも丁寧な指導をもらっている。</p>	<p>市担当者からは、電話やFAXなどで会議や研修会への案内を受けており勤務調整して参加するよう努めている。地域ケア会議への参加や推進会議などで意見交換しサービスの向上に取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>毎月開催している安全対策・拘束廃止委員会の中で年間計画を作成し、3事業所合同で勉強会を開催し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人の、安全対策拘束廃止委員会があり、会議は毎月開催され施設長を始め委員会メンバーにて身体拘束や虐待防止などの適正化に向けて話し合っている。勉強会は、有料老人ホームや同法人のグループホームなどと合同で開催し、知識や技術の研鑽に努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会の年間計画を作成し職員全員で学習し虐待の防止に取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>学習会の中で学習し理解を深めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては入居時に家族へ十分な説明を行い、そのうえで疑問や質問に答えている。入居後にも疑問に思ったことがあればいつでも答えることを伝えている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナ禍の中運営推進会議をレジュメ送付で行い意見を頂くようにしている。事業所内で行っていた時には参加が難しかった家族からも意見を頂けるようになっている。	家族などの面会については、一定の制限を設けているが、希望に応じて面会をしていただけるよう取り計らっている。家族は、毎月発行される、「お便り」を楽しみにしておられ本人情報やホームの取り組み状況を文書や写真などで確認し安心につながっている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度開催される部署会議において意見や提案を聞き、各担当者にも随時意見交換を行っている。	女性だけの職員構成、職員の関係性は良好であるが、看護職の配置が無く不安があり、法人の看護師などとの連携確保に努めている。人事考課システムがあり、「個人評価シート」にて自己評価をおこない、部署会議にて業務改善やサービスの質の向上に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員は全員一年に一度「個人評価シート」に目標や自己評価を記入し提出している。それをもとに施設長との個人面談を行い、意見や要望を聞いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>コロナ禍の中ではあるが、可能な研修には外部研修にも参加している。今ではzoomによる研修も増えていて希望者を募り参加を促している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>コロナ感染対策の中、外部とのネットワークづくりには厳しい環境である為、主に電話による情報収集となっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居される前に面談を行い情報収集をし、契約時には家族への説明の中で本人様や家族の不安や要望にできるだけ答えられるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に要望・不安に思っていることを十分聞き、対策を考慮し入居後に安心してやまぶきでの生活を始められるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の面談の段階で計画作成者と利用者にとって何が必要かを見極め個々の環境を整え信頼関係を築けるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「家庭的な暮らし」を理念に置き利用者の出来る家事は職員と共に行い、利用者の残存機能を活かし出来るところは声掛けで対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族から定期的に電話連絡を入れていただいたり、携帯電話を持ち込まれている入居者には自由に家族と連絡をとって頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅にある墓参りに同行したり、若い頃働いていた職場が近くにある入居者が久しぶりに行ってみたいと言われ同行し本人も勿論職場の方も喜ばれた。	希望があれば職員が墓参りに付き添ったり、自宅訪問や行きつけのパン屋さんに出かけている。携帯電話を使用される方や訪問美容の活用、行事計画にて外出を検討し、毎年の初詣、外出は少人数にて馴染みの場所に行くなどドライブにて楽しんでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	全入居者は日中ホール内でソファで寛がれている。何かあった時は職員が間に入り不穏にならないことを防ぎ、入居者同士が話をしやすい環境を整えている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	連絡や相談があれば都度対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の希望や意向の把握を行い、出来る限り意向に沿う様努めている。	本人の思いは、利用者ごとの担当職員やカンファレンス、部署会議などで話し合わせ共通認識を図るよう努めている。家族には、介護計画書作成の時、説明と同意を得て思いに触れより良い暮らしの実現に向けて取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に情報収集を行っている。入居後も本人様や家族からの情報を電話にて聞き取りを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日中は入居者全員ホールのソファにて寛いでおられる。You Tubeが導入してあり地区内の祭りや馴染みのある島の様子を見て楽しんでおられる。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	部署会議において各入居者のどこに介助が必要かを検討し、出来ないところの支援を行うよう努めている。状態に変化があると家族への状況の説明をこまめに行なっている。	毎月行われる部署会議では、ケアマネジャーを中心にアセスメントやモニタリングの結果が反映された介護計画書について検討している。家族には、電話や面談にて説明、同意をいただき交付し、計画の見直しを柔軟におこない、本人のしたいことや行きたいところを盛り込み、安全に暮らせる目標設定であり現状に即した計画書になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿ったケアを実践している。介助後すぐに記録の記入を心がけている。各担当者による観察によってケアプランの見直しもスムーズに行えている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族のニーズに対しては都度柔軟に対応している。看護面に対しても併設施設の看護師への相談や応援を貰える体制をつくっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍の中で厳しい環境が続いていて数えるほどしか外出支援を行えていない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関による月に2回の往診を受けている。体調の変化また本人の希望による受診にも対応している。職員の付添と家族への結果の報告も行っている。	本人や家族が希望する医療機関となっており、訪問診療にて適切な医療を受けている。コロナ禍でもあり他科受診は職員が対応しているが必要時、家族の協力を得ている。訪問歯科医療、薬剤師との医療連携も図られている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師不在である為処置が必要な時は併設施設の看護師に協力を仰ぎ、状態変化時はかかりつけ医に報告・相談を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>コロナ禍の中、入院された時は連携室との情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に看取りに関する指針を説明し、同意書を頂いている。また、「急変時や終末期における医療等に関する意思確認書」をケアプラン更新の都度意思確認を行っている。</p>	<p>現在、看取り実施中であるなど看取りの経験が豊かである。家族へのグリーフケアを実施しているが、看取り実施後の職員研修は今後、検討している。急変時や重度化対応については、医療の知識などを研鑽するため研修を充実させマニュアルや介護方法がいつでもタブレットで閲覧ができるようシステム化されている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>勉強会の年間計画書のなかで学習する機会を組んである。急変時・事故発生時・意識消失時のマニュアルを作成しタブレットでいつでも閲覧出来る。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災だけにとどまらず、近くに川が流れている為に水害についての勉強会も開催している。防災対策委員会による備蓄品や各種設備の点検も定期的に行っている。	河川氾濫による被害を経験したことがあるため、水害についての避難訓練をおこない、勉強会も実施している。委員会による防災設備の点検や備蓄、停電対策をおこない不慮の事態に備えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎朝申し送り時に接遇目標を唱和して、入居者の尊厳を損なわないよう取り組んでいる。	法人の接遇委員会に参加し、プライバシー保護、ハラスメント対策マニュアルや接遇目標を決めて利用者の尊厳や人格を否めないケアに努めるよう取り組んでいる。会話は、なるべく標準語を使用し、声のトーンにも留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の望まれることを傾聴し思いに添えられるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出水市内最高齢者の方が入居されている。その方のペースを尊重し希望にそって支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	皆様、毎朝起床時は鏡の前で身なりを整えられている。外出時も身だしなみを整え帽子や上着着用などの支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜を切ったりは難しくなっているが、団子を丸めたり、餡を包んだり楽しみながら一緒にやっている。コロナ禍の中職員は時間をずらして休憩を取っている。	誕生会や季節の行事食などは、弁当仕立てで提供しているが、毎月のお便りに写真を掲載し家族に報告している。手作りおやつも利用者の楽しみになっており、能力に応じて利用者と職員がとともに下ごしらえなどをして食事準備やおやつ作りをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりにあった一日の水分量を計算し、水分チェック表に貼っている。食事摂取量チェック表に記入する職員を決め確実に記入している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの誘導を行っている。義歯を外しての洗浄・舌洗浄も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意・便意のない方への定期的な誘導を行っている。腹圧をかけられない入居者への水分摂取の声掛けと排泄チェック表による排泄のパターンの把握に努めている。	安全面に配慮し、トイレは常時、点灯している。排泄のリズムや本人の訴えなどに応じてトイレ誘導したり、ポータブルトイレを活用し夜間の排泄やおむつ交換をして排泄の自立支援に努めている、便秘対策として、毎朝ラジオ体操を実施、食事の工夫や水分補給などで腸内環境を整えられるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日昼食時にはヨーグルトの提供を行い、水分摂取や野菜を多く摂取出来るメニューを組んでいる。消化不良が続いている入居者にはブレンダー食・ヨーグルト中止などで対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週に2回の入浴介助を行っている。入浴剤も種類を増やし入居者も喜ばれている。入浴拒否があれば職員を変えたり翌日に介助を行うなどで対応している。	ホームは、ユニットバスであるが、身体状況に応じては、有料老人ホームの特別浴槽を利用できるよう配慮している。ポントタン湯、みかん湯、入浴剤などを楽しんでおり、入浴が楽しみなるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望があれば午睡も促している。毎朝のラジオ体操やテレビ体操を行いソファで寛がれる時に足の挙上を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者一人ひとりの薬の情報はコピーし事務所入口に置き職員が薬の目的や副作用について理解出来るようにつとめている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物を一緒に干し・取り込み・たたみ・片付けを行っている。レクリエーションもなるべく偏らないようにし、気分転換に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者の希望に沿って可能な限り対応している。気候が良い時は外で昼食・お茶会など行い楽しみにされている。外に出る機会が少ない為駐車場への散歩は日常的に行っている。	本人の希望があれば天候や体調を見ながら、故郷ドライブや行きつけの店に出かけるなどしている。重度化もあり、少人数にて外出をして地域に出かけ季節が感じられるよう取り組んでいる。日常は、駐車場での散歩が多く、運動を意識したり、日光浴をして骨粗しょう症対策を心掛けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現金は事務所にて個別に保管している。本人希望あれば事務所へ連絡し個々の預り金を持参しコンビニエンスストア等での買い物支援を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>帰宅願望の強い入居者に定期的に家族から電話連絡を行うよう依頼したり、携帯電話持参されている入居者はいつでも家族と連絡出来るようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者の愛用品の持ち込みと動きやすい環境づくりに取り組んでいる。壁や廊下に大きく引き伸ばした写真もたくさん貼り出していて、その時のことを楽しそうに話されていることがある。</p>	<p>フロアや廊下に季節が感じられるよう装飾が施され、毎月利用者と職員がアイデアを出して一緒に作品を作成し掲示したり、利用者の写真や作品を掲示している。採光がある共有スペースであり、意図的にソファの配置を増やし利用者がいつでも好きな場所で座り和めるよう配慮している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>自然と仲の良い入居者同士隣に座り話し込んでおられたり、一人で過ごされるように至るところにソファを設置している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に愛用品の持ち込みも家族に伝えている。入居者と一緒に動線を考えた環境づくりに取り組んでいる。	木製ベッドが備え付けられているが、必要に応じて電動ベッドを準備して過ごしやすいよう配慮している。馴染みのものを持ち込み居心地よく過ごせるよう工夫しているし、居室入口には、常夜灯スイッチがあり安全に配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	なるべく今の状況・レベルを維持出来るよう声掛けでの支援であったり、過剰な支援を控えることを職員全員で理解し、安心・安全を第一に行っている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
		○	4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない